

## :: 指定管理者制度導入施設 モニタリング・シート ::

評価年月日: 平成30年7月23日

1 基本事項	
公の施設の名称	市民・大学交流センター(ユニコムプラザさがみはら)
指定管理者の名称	公益社団法人 相模原・町田大学地域コンソーシアム
指定期間	平成28年4月1日～平成31年3月31日
施設設置条例の名称	相模原市立市民・大学交流センター条例
施設の設置目的	市民と大学等との連携により、地域の課題の解決及び地域の活性化を図る (相模原市立市民・大学交流センター条例第2条)
施設概要	・床面積 2,965.82㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 ・施設 セミナールーム1・2、実習室1・2、ミーティングルーム1・2・3・4・5 マルチスペース、AVスタジオ、シェアードオフィス1・2・3、 大学情報コーナー、地域情報コーナー
施設所管課の名称	市民局 市民協働推進課

2 管理実績							
項目(単位)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
利用者数合計(人)	117,896	175,786	168,556	192,758	185,025	/	/
利用料金合計(円)	15,413,443	21,537,324	25,065,128	26,581,077	30,236,670	/	/

3 成果指標の達成度	
施設の設置目的や施策の達成度を客観的に評価するため、指定管理者の募集において示した成果指標。	
指標名(単位)	[指標1] 有料施設の利用率(シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーを除く)(%)
指標式と指標の説明	指標式: 有料施設の利用コマ数 / 有料施設の利用可能コマ数 × 100 有料施設の利用率を指標とすることで、施設の活用を図るとともに、施設利用者への施設の設置目的を推進するもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	/
実績値(%)	43.5	59.6	66.7	68.5	69.1	/	/
達成度(%)	/	/	/	97.9	92.1	/	/

指標名(単位)	
[指標2(1)] 有料施設の利用率(シェアードオフィス)(%)	
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数 × 100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	/
実績値(%)	52.4	54.8	69.0	59.5	50.8	/	/
達成度(%)	/	/	/	85.0	67.7	/	/

指標名(単位)	[指標2(2)]有料施設の利用率(大学情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数 × 100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	100.0	100.0	100.0	
実績値(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
達成度(%)				100.0	100.0		

指標名(単位)	[指標2(3)]有料施設の利用率(地域情報コーナー)(%)
指標式と指標の説明	指標式: 利用日数 / 利用可能日数 × 100 シェアードオフィス、大学情報コーナー、地域情報コーナーの利用率を指標とすることで、大学の情報の発信及び地域活動及び市民活動を推進するとともに、大学との連携を図っていくもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(%)	-	-	-	70.0	75.0	80.0	
実績値(%)	55.6	33.3	33.3	29.8	47.7		
達成度(%)				42.6	63.6		

指標名(単位)	[指標3]地域活動や市民活動を行う市民の課題の抽出(件)
指標式と指標の説明	課題の件数 地域活動や市民活動を行う市民の課題を把握し、その課題の中で、大学と連携させる案件を抽出することで、市民と大学との連携の推進が図られるもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(件)	-	-	-	50	60	70	
実績値(件)	-	-	-	79	78		
達成度(%)				158.0	130.0		

指標名(単位)	[指標4]地域活動や市民活動を行う市民と大学との橋渡し件数(件)
指標式と指標の説明	橋渡し件数 市民と大学との連携(協働)による新たな市民活動や地域活動を創出するイベントやシンポジウム等企画から運営まで携わった件数を指標とすることで、市民と大学との連携が強化され、地域の課題解決及び活性化が図られるもの。

項目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
目標値(件)	-	-	-	15	20	25	
実績値(件)	3	11	6	8	20		
達成度(%)				53.3	100.0		

4 評価

指標名(単位)	評価	コメント
施設の設置目的の達成度	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指標1～指標4の達成度の平均値が99.8%で評価基準は「B」に該当するが、成果指標の中でも、特に施設の設置目的の達成に直接的に係る成果指標4の達成度が100%であることを考慮し、評価は「A」とする。</li> <li>・指標1の達成度については、92.1%となっている。引き続き、利用率向上のための取組を期待する。</li> <li>・指標2については、シェアードオフィス67.7%、大学情報コーナー100.0%、地域情報コーナー63.6%となっており、3施設の達成度の平均値は77.1%となっている。利用率向上のため、一層の取組に期待する。</li> <li>・指標3については、センター来場者から収集した情報だけでなく、区民会議及び地区まちづくり懇談会の傍聴や、市民団体を対象としたニーズ・シーズ調査のアンケートを実施するなど、センターの外部から積極的に収集した情報により、実績は78件(130.0%)となっており、内容、結果ともに評価できる。</li> <li>・指標4については、市民と大学のニーズ・シーズの情報等を活用し、様々な機会を捉えて、市民と大学が連携を深め、課題を共有し、地域課題の解決や地域の活性化に取り組んだ結果、実績は20件となっており、評価できる。</li> <li>・相談を受けた課題への即時的な対応に加えて、市民・大学それぞれのニーズ・シーズ調査結果を活用し、収集した課題の解決に向けて継続的に対応する機能の拡充を期待する。</li> </ul>
事業・業務の履行状況	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業・業務を適正に履行するために、人員体制の強化やマネジメント体制の確立に努め、橋渡し機能の改善や人材育成等に取り組んだことは評価できる。</li> <li>・モニタリング基礎シート(様式1)のすべての評価項目について、指定管理者の履行状況等が、評価の視点を満たしている。</li> <li>・ニーズ・シーズ調査結果を、橋渡し等の具体的な事業に結び付けていくことに期待する。</li> </ul>
利用者満足度の向上度	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モニタリング基礎シート(様式2)の達成度が96.2%であったことから、評価は「B」とする。</li> <li>・利用者満足度調査や、各種のアンケートにおける意見・要望等について検討し、引き続き満足度の向上に向けた取組に努めていただきたい。</li> <li>・現在の利用者満足度調査は、施設利用の受付に関することを中心とした設問となっているため、センターにおける事業の内容的な満足度を把握する方法についても、検討いただきたい。</li> </ul>
財務状況の適正性	S	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の決算において、収入が支出を上回っている。</li> <li>・貸借対照表から、正味財産は約498万円(前年度比約59万円の増額)となっている。</li> <li>・公益社団法人の財務状況として特段の課題はなく、適正な状況と評価できる。</li> </ul>

【施設の設置目的の達成度】の評価基準

モニタリングシート(3 成果指標の達成度)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

【事業・業務の履行状況】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式1)における“評価”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 全ての評価項目に「A」または「B」がつき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2以上である。
- A: 全ての評価項目に「A」または「B」つき、「C」の数が評価項目の総数の3分の2未満である。
- B: 全ての評価項目が「C」である。
- C: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が1つある。
- D: 「C」と「D」のどちらもつかない項目が2以上ある。

【利用者満足度の向上度】の評価基準

モニタリング基礎シート(様式2)における“達成度”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 当該年度の達成度が110%以上
- A: 当該年度の達成度が100%以上110%未満
- B: 当該年度の達成度が90%以上100%未満
- C: 当該年度の達成度が80%以上90%未満
- D: 当該年度の達成度が80%未満

〔財務状況の適正性〕の評価基準

モニタリング基礎シート(様式3)における“3 指定管理者の団体本体の経営状況”の内容について、次の基準により評価する。

- S: 評価対象年度の決算において、収入が支出を上回っており、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - A: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っておらず(収支が一致している。予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - B: 評価対象年度の決算において、本社等からの繰入れを行っているが(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、選考委員会による意見として本体の経営状況に「特段の課題はない」とされた場合
  - C: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っている(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、または選考委員会による意見として本体の経営状況に「若干の懸念がある」とされた場合
  - D: 評価対象年度の決算において、本社等から繰入れを行っており(予定外の自主事業等へ対応した場合を除く)、かつ選考委員会による意見として本体の経営状況に「重大な懸念がある」とされた場合
- 「財務状況の適正性」の項目については、グループ全体としての評価とする。(複数の施設をグルーピングしている場合のみ)

客観的評価として以上の基準によりS～Dを判定し、選考委員会の意見を踏まえて調整することも可能とする。

5 施設所管課による総合評価	
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度の指定管理業務については、人員体制の強化とマネジメント体制の確立による改善が図られ、概ね良好な状況となっている。</li> <li>・施設の設置目的の達成に直接的に関係するリエゾン(橋渡し)機能について、センター内外からの情報収集に取り組み、整理した情報を活用し、橋渡し件数の増加につながっていることは評価できる。</li> <li>・「施設の設置目的の達成度」について、目標値を下回っている施設の利用率を向上するための工夫に取り組んでいただくとともに、利用者満足度の更なる向上に努めていただきたい。</li> </ul>

6 指定管理者選考委員会による評価	
評価実施日	平成30年7月23日
コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な設置目的のあるセンターの運営について、難しさもあるが、意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・課題であった法人の財務状況が改善されたことは評価できる。</li> <li>・これまでに収集し、蓄積してきた市民と大学のニーズ・シーズの情報について、継続的に収集するとともに、市民と大学との連携につながるように、中長期的な取組をしていただきたい。</li> <li>・施設の利用率を向上するための取組については、引き続き努めていただきたい。</li> <li>・施設の設置目的を達成するための橋渡し機能などについては、即時性を求められる相談等への対応と、中長期的に取り組むべき課題への対応について、機能を拡充する工夫をしていただきたい。</li> </ul>